会議名	長浜市指定管理者選定委員会　第１委員会（第５回会議）
日　時	令和元年１０月４日（金）
審査対象	湖北福祉ステーション

質疑応答

（委員）　３ページにある施設の課題ということで施設老朽化と挙げられているが、具体的に見ていくと、１つは電灯等の適宜ＬＥＤ化をすすめるというのが課題なのかと。適正運用ということもあるが、ＬＥＤ化するには費用がかかると思うが、これについては収支計画書に含まれる内容と解釈してよいか。

（申請者）　この施設については、22 年経っている施設であり、電灯については一部である。大きな課題で言うと、空調やボイラーがある。また特浴についても新しいものも発売されているが、交換するにも金額的に大きいものであるので、これらについては市と協議しながら、随時対応したいと考えている。電灯については、現在支障がないが、一部交換が必要なものもあり、都度修繕対応していきたい。年間修繕費で対応できる範囲で順次対応したい。また、大規模修繕が必要な場合は、市と相談しながら対応していきたい。

（委員）　施設見学に行った際、半分が使用されていなかったが、その活用については、何か考えているのか。

（申請者）　地域福祉ステーション的な活用をしている。地域住民、福祉活動者がいろいろな講座や住民活動、特に湖北については「湖北福祉の会」という地区社会福祉協議会という住民組織があり、さまざまな福祉活動をしていただくにあたって、貸館として活用している。施設見学の際は、利用がなかったかもしれないが、稼働率が高いと認識している。実績については、、資料 110 ページに記載しているが、年間 1,065 件、利用者数は 14,026 人である。

（委員）　収支計画書に２つの事業があり、“繰入金支出”とあるが、これはどのような内容か。

（申請者）　間接的な法人の管理部門への繰入の部分とそれぞれ個々の事業に対しての職員の退職給与の分が法人一括で上がっているので、これを繰り出している。

（委員）　よくわかるが、表記の仕方はこれでよいのか。利益を出しているような雰囲気がある。勤めている人に出しているので、いいが、そのような記載になっていないので、違和感を感じた。
実際、会計上ではどこに繰り出すということがわかるようにしているが、区分が大きくなっているためこの表記になっている。

（委員）　今の話に関連するが、退職金等については、全施設を通算して別機関でやられるので、個々の事業者はそれを計上する必要が

出てくると思うが、それをさらに個々の施設の負担部分を繰入という表現で負担しているという意味合いか。

（申請者）　ご認識のとおり。

（委員）　繰入金の内訳、つまり人的負担の一部としての繰入部分とそれ以外のものもあるわけですよね。少なくとも繰入金のうちの人件費に相当する部分とその他に分けた方が、わかりやすいと思う。

（委員）　27 ページの自由提案で、“これまで培ってきた～実績を活かしつつ”とあるが、このような実績を活かしながら、これまで得られてきた経験値等をこれからの介護事業に対して、今後どのように活かしていこうかという提案があると思ったが、“運営業務を果たすことができます”ということで、何か将来に向けての提案はあるか。

（申請者）　社会福祉協議会は、地域福祉部門と介護福祉事業部門を持っているが、定期的に連携を取りながら、情報交換している。デイサービスにしても、地域の困りごとの相談など、アンテナ役ということもある。毎日送迎を行っているので、何か変わったことがあれば、連携を取りながら対応している。高齢者から小さい子供、しょうがい者の方まで助け合っていくところが社会福祉協議会でもあると思うので、それらも含めた事業展開を考えている。

（委員）　実際に大変な仕事をしていただいているが、近い将来の関わり方も含めて未然に防ぐことをやっていただいていると、大変ありがたい。高齢化が進んでいく中で、何か対処できるような提案はないか。

（申請者）　介護予防という観点ではまだまだかと思う。それぞれの地域で住民福祉活動者の会が結成されており、住民が自分たちの計画を５か年分立ててもらっている。湖北では５つの目標に沿って計画を立ててもらっている。特に湖北についてはお互いを助け合っていこう、ちょっとした困りごとならば住民活動で解決していこうという取組をしてもらっている。家の中の困りごとまではなかなか見えてこない、誰がそれを伝えるかというと、身近に関わっている介護の専門職である。もちろんプライバシーについては配慮するが、高齢者やしょうがい者の方がこういった悩みを抱えているということを情報提供いただいて、住民のみなさんでできる取組をしてもらう。その中に認知症の対応や介護予防を含めた生きがいづくり等の場づくりを住民自らができるような地域づくりをすすめている。暮らしの支え合い検討会と呼んでいるが、地区ごとに課題に取り組んでもらえるよう支援を行っている。

（委員）　住民参加ということだが、高齢者と子供が触れ合うことで、温かい雰囲気にもなるので、子供の社会参加にもなると思うので、そういった事業も検討いただきたい。

（委員）　介護予防という話があったが、先般滋賀医大の先生と話した中で、介護を必要とする状況になってしまった方には残念ながら

特効薬はないということあった。やはり、そうならないための予防というのが非常に重要で、残念ながら予防に関しての国の支援としては手薄いと思う。社会福祉協議会として、介護予防について、どのような姿勢で取り組んでいくのか。

（申請者）　長浜市から補助金をいただいて行っているが、トレーニングマシンを５台入れているが、みなさんが順番待ちされるなど、かなり高い利用状況である。介護サービスをしている中で、体を動かしたい、あるいはリハビリをしたいという利用者の声がかなりあったので、湖北デイサービスには４台リハビリマシンを入れている。今年度、全部 20 台のリハビリマシンを導入し、各デイサービスセンターに配置したところである。具体的になっているわけではないが、利用がない時間帯に一般の住民にも利用いただくような運用ができないかということも視野に入れて検討しているところである。

審査

（委員）　スケールメリットが一番大きいかと思う。大きいものがすべてよいというわけではなく、報告書や数字の把握、また現地見学の際も入所者への対応を見ていても、非常に丁寧な対応であり、長浜市社会福祉協議会以外は考えられないと思う。

（委員）　異議なし。おっしゃるとおりだと思う。１つしかないということもあるので、驕られることなく引き続きしっかりとやっていただきたい。

（委員）　異議なし。社会福祉協議会という性質からいうと当然だと思うが、昨年のような災害時でも他の福祉ステーションに回せるという強みは大きいと思う。これらについても十分考えていたので、よかったと思う。

（委員）　異議なし。手広くいろいろな事業を展開されているので、お任せして問題ないと思う。

（委員）　異議なし。立地的にも湖北町速水で地域的にも中心でもあるので、他に任せると連携が図りにくくなると思われるので、社会福祉協議会にお任せしたい。

（委員）　異議なし。実績については申し分ない。地域全域にそれぞれの拠点があることを有効に活用された活動をされている。あわせて、将来的な課題である介護予防、また外国人の研修等にも取り組んでおり、評価できる。

（委員長）　いろいろと意見が出ましたが、意見を踏まえて、当委員会では社会福祉法人　長浜市社会福祉協議会を指定管理者候補として適当と判断してよろしいか。

（委員）　異議なし。

（委員長）　結論、社会福祉法人　長浜市社会福祉協議会を指定管理者候補として適当と判断する。